

東京家庭裁判所委員会議事概要

第1 日時

平成31年2月22日（金）午後3時から午後4時30分まで

第2 場所

東京家庭裁判所大会議室

第3 出席委員（五十音順，敬称略）

相原佳子，犬伏由子，大竹寿幸，折井純，甲斐哲彦，川島博之，栗原由美，
佐藤浩二，澁谷博之，園原敏彦，平尾武史，平松剛，水野有子

第4 テーマ

家庭裁判所創設70周年記念講演

第5 議事内容

1 開会宣言

2 新任委員紹介，挨拶

3 NHK解説委員である清永聡氏から，著書「家庭裁判所物語」を執筆するに 当たり家庭裁判所関係者取材した結果をもとに，「家裁70周年その歴史 と理念」と題した講演をいただいた。

4 意見交換（委員の発言）

- ・ 家庭裁判所は，他の裁判所とは設立の原点が全然違うということがよくわかった。これから，もっと充実させなければいけないという感想である。
- ・ 少年院の歴史を広報することがあるが，関係機関である家庭裁判所の歴史も加味して説明することで，より理解してもらえると感じた。
- ・ 一般には，家庭裁判所の独自の役割や地方裁判所との違いなどがあまり理解されていない気がする。家庭裁判所が行っていることなどについて，社会に向けて伝えていくことの必要を思った。
- ・ 講演の中で，ある裁判官の「ヒューマニズムがあるのが家庭裁判所である」との発言が紹介されたが，一つひとつの調停の中で，この言葉を忘れずに

やっていきたいと思った。

- ・ 非行少年に対しては、「三つ子の魂百までも」とも言われるように、厳しく臨むべきなのか、きちんと保護して矯正していく方に重きを置くのか、どちらを優先して考えればよいか悩ましい。

5 次回テーマの選定 「外国人の家事事件」

6 閉会宣言

第6 次回日時

平成31年7月12日（金）午後3時